

けやきっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和7年度の活動状況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
東鷲宮小学校・鷲宮東コミセン	平成23年(2011) (15年目)	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	9月～2月 まで全8回 土曜日(午前)	16講座
ゆうゆうプラザ名の由来	開校の年に記念樹として「けやき」の木が 植栽され、以来東鷲宮小の児童達を「けや きっ子」と呼んでいるところから名付けた。	90人/ 520人 (17.3%)	22人	96人	各講座: 1～ 4回活動	

1 実施委員長・校長先生からのメッセージ

「けやきっ子ゆうゆうプラザ のアップデート！」

実施委員長 村田 文雄

令和7年度のけやきっ子ゆうゆうプラザも、指導者の先生方やサポーター（地域、保護者、中高生）の皆様、西校長先生をはじめ職員の皆様、実施委員の協力のもとに各講座を終了することができました。本当にありがとうございました。

今年度は、けやきっ子ゆうゆうプラザを存続させることを主眼においた昨年度から、さらに効率化や講座の充実に取り組んできました。講座数は昨年度の13→18講座に増え児童の興味がより沸く講座が開催されました。また、実施委員同士で連携して講座運営を行いました。さらに、土曜日開催の継続により、親子参加の講座も増え、親子での触れ合いの場ともなりました。保護者へのゆうゆうプラザの理解も増しました。のべ参加児童数は265名（R6年度259名）で昨年度よりも微増となりました。参加サポーター数はのべ295名（R6年度298名）ではほぼ同程度の参加となりました。それぞれの講座では、参加した児童の数だけたくさんの笑顔や感動があり、充実したゆうゆうプラザとなりました。ご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

「けやきっ子ゆうゆうプラザから生まれるもの」

校長 西 俊之

新しい体制でのけやきっ子ゆうゆうプラザも2年目となりました。毎回の講座は実に多彩で子ども達の興味・関心を存分に満たす素晴らしいものばかりです。自分が選んだ講座に臨む子ども達の姿は見ていて誇らしく、何かに「没頭」ということが子ども達の成長にどう作用するのか楽しみなどころでもあります。また、その中で異学年交流や親子、親同士の交流も生まれ、教え支え合う姿も見られました。ここにゆうゆうプラザの意義があり、そのような機会を与えてくださる講師の皆様、運営面では実施委員の皆様や中高生ボランティアの皆様の支え無くしては成しえることができないものと捉えております。

あらためて、村田実施委員長様をはじめ、けやきっ子たちのためにご尽力いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。また、次年度もけやきっ子ゆうゆうプラザの活動をよろしく願いいたします。

2 けやきっ子ゆうゆうプラザの活動紹介

(1) 活動の骨子について【今年度の重点】

- ・事務処理の効率化～ICTの活用（申し込み方法、連絡方法等）
- ・実施委員の負担軽減～実施委員会は定例（月1回）ではなく必要に応じて開催し、その他の連絡等はオープンチャットを使用する。
- ・講座内容の充実（児童、保護者参加のメリットを生かす）新講座：4講座
- ・登下校は、保護者の送迎で行う。会場は、東鷲宮小と鷲宮東コミセンを使用

(2) 活動の様子(児童実施委員による撮影)



けやきっ子スポーツフェスタ



パンフラワーで干支を作ろう



自然の観察(七草がゆ)



ヨガ遊び



キッズダンス



ロボットを作ろう

3 今年度の成果と課題

<成果>

- ・土曜日の開催で活動時間が長くとれ、特に作品製作等にゆとりをもって取り組めた。
- ・親子参加が増え、特に低学年の児童では安全面での見守りも活動と同時に行えた。
- ・運営面では昨年度に引き続きオープンチャットや共有ファイルを使用することで、事務の効率化につながった。
- ・児童実施委員が各講座の写真撮影などの取材を行いパネル製作等にも参加した。

<課題>

- ・平日開催と異なり土曜日開催では家族で他の活動が入っている児童は参加できなかった。
- ・実施委員の人数によって、開催できる講座数も限られてしまう。